

令和3年7月8日

令和3年第2回神奈川県議会定例会

建設・企業常任委員会報告資料

(その2)

県土整備局・企業庁

目 次

ページ

I 令和3年7月1日から大雨に係る対応について 1

I 令和3年7月1日からの大雨に係る対応について

1 県内の概況

(1) 降雨の状況

7月1日から本格的に降り始めた雨は、7月2日から3日にかけて、梅雨前線が太平洋沿岸で停滞したことにより、箱根町など県内各地で大雨となった。

7月2日から3日までの降水量は箱根町で675mmとなるなど、記録的な大雨を観測した。（6月30日午前11時頃から7月5日午前6時00分までの累計雨量は箱根町で848.5mm）

(2) 気象警報の発表状況

7月1日午後7時29分に大雨警報が発表され、3日午前1時15分に土砂災害警戒情報※、午前2時3分には洪水警報が発表された。

土砂災害警戒情報は7月3日午後9時40分に解除され、大雨警報は4日午後10時38分、洪水警報は5日午前6時00分に解除された。

※ 土砂災害警戒情報

大雨警報の発表後、命に危険を及ぼす土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況となったときに、市町村長の避難指示の発令判断や住民の自主避難の判断を支援するよう、対象となる市町村を特定して警戒を呼びかける情報で、気象庁と都道府県が共同で発表している。

(3) 避難情報の発令状況

平塚市では、7月3日午前7時4分に金目川、54分に金目川を含む6河川において、周辺の住民を対象に、洪水による浸水被害が発生している可能性があるとして、災害発生の危険度が最も高い警戒レベル5の「緊急安全確保」を発令した。

このほか、5市4町ではレベル4の「避難指示」を発令した。

2 県土整備局関係

(1) 対応状況

県土整備局では、6月30日午後10時10分に発表された大雨注意報を受けて水防体制を整え、7月7日正午の時点までで、延べ本庁76名及び土木事務所等372名の合計448名で警戒にあたった。

(2) 所管施設における主な被害

【7月7日正午現在】

区 分	被 害 内 容
河 川	金目川等14河川19箇所において護岸破損など (河内川等2河川2箇所において浸水被害)
道 路	県道740号(小田原湯河原)等3路線3箇所において土砂流出など
公 園	茅ヶ崎里山公園等4公園4箇所において斜面崩落など

(3) 今後の対応

現在、応急復旧工事を進めつつ、詳細な被害状況の把握や被害額の算定に取り組んでいる。

復旧工事にあたっては、国の災害復旧事業の適用について調整を進めるとともに、既決の災害復旧関連予算を活用しながら早期の復旧に取り組んでいく。

3 企業庁関係

(1) 対応状況等

企業庁では、浄水場の停電等の警戒や各ダムからの放流を実施するため、6月30日から7月7日正午の時点までで、通常 of 体制に加え、延べ201名の職員が対応にあたった。

企業庁所管施設について巡回点検等を実施したところ、この大雨による被害は確認されていない。